



CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

August 2018

ご挨拶



一般社団法人
日本インプラント臨床研究会

会 長
田 中 讓 治

会員の皆様におかれましては、日頃より会へのご協力、誠にありがとうございます。このところの異常気象に伴う西日本豪雨による被害を受けた方々には心よりお見舞い申し上げますとともに一刻も早い復興を願っております。

さて6月に行われた総会および理事会において会長という大役を再任頂き、改めて身の引き締まる思いです。日本のインプラント界を先導していると言っても過言でない当会の伝統をしっかり引き継ぐとともに、さらなる発展のために精一杯取り組んでいきたいと思っております。会長就任時に挙げました3つのビジョン『1.会員の飛躍のためのさらなる充実 2.歴史ある当会の伝統の継承 3.日本のインプラントの発展に寄与』を引き続き会の方向付けとして盛り上げていきたいと思っておりますので、会員皆様方のご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、本年もすでにさまざまな行事が遂行されております。特に3月に六本木ヒルズにて行われた第28回アジア口腔インプラント学会(AOIA)(大会長水口稔之先生)はとても盛盛に終わり、内外にその活動力を示すことができたのではと思われま。次にかねてより古市支部長より提案のあった東京と関西の中継講演が2月の特別研修会(三好敬三先生)で実現し、好評を博しました。会の大きな飛躍の1つとも言えるでしょう。恒例の第13回全員発表研修会も非常に盛り上がりました。特に鶴見大学歯学部 病院長 大久保力廣先生より自ら4分発表を体験したいという話があり、特別講演だけでなく一般発表もして下さり、また、当会の恒例行事に感嘆の声を頂き、大会を大いに盛り上げて下さいました。昨年の全員発表研修会をもとにして発刊した書籍もとても素晴らしい内容となっております。また、サイエンス委員会(委員長岩野義弘先生)が編集にあたった書籍「ザ・クリニカルクエスト」では診療ガイドラインを意識するとともにインプラントロジスト248名のアンケート調査という過去にない貴重な膨大なデータを載せることができました。会員皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。5月には長年当会のために尽力して下さいました伊藤繁様のお疲れ様会が役員で行われました。当会の初期から当会を支え発展に寄与して下さいましたことにこの紙面をお借りして敬意を表したいと思っております。

来年当会はいよいよ45周年を迎えます。記念大会として全員発表研修会をオープン(7月14日15日東京ミッドタウン日比谷)でおこないます。また記念祝賀会(ザ・ペニンシュラ東京を予定)も企画しております。また、第10回関東甲信越支部学術シンポジウム(8月4日)も任されております。そして2020年9月19日~21日には、日本口腔インプラント学会第50回記念大会大会長を井汲憲治前会長が務められます。さまざまな重要な行事が控えており、会員の皆様方のお力添えなしではなれません。一丸となって突き進みたいと思っておりますので、どうかご指導ご鞭撻のほど心よりお願い申し上げます。